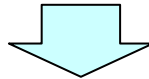


台風等による内水問題の解決を住民や市町村から陳情、要請されていませんか？

●業務の背景



- ① 河川改修の進捗に伴い、元来治水安全度の低い都市域河川の内水問題が顕著になっています。
- ② 本川改修による流量増・築堤水位向上の影響を受けた内水による湛水深増大や湛水時間が長期化する傾向にあります。
- ③ 近年、都市域でたびたび見られる高強度降雨による内水も頻発しています。
- ④ 単純な河川改修と異なり、要因が複雑に絡み、また管理者も明確でないことから有効な対策が立てられないことが多く見られます。



こんなに水が出るようになったのはここ最近、しかも降雨後しばらくたっても水が引かなくなった…



●業務実施上のポイント

既存の内水解析技術、合流処理方法計画技術をベースとし、さらに以下のようなポイントを重視してご提案いたします。

(1) 当該地域の視点を重視します。

河川と地域の係わりを理解し、上下流左右岸の関係、築堤と内水、合流課題、霞堤、超過洪水などの課題について「どのような対策をとるのが地域にとって望ましいのか」という視点をもって検討することを心がけます。地域の視点を重視して、地域にとって望ましい洪水対策を検討します。



関係地区合同会議の様子

(2) 課題を解決に導くための流域と河川の適正な役割分担を考えます。

流域が有している保水機能の保全、治水方式の採用、水害に強い街づくりへのアプローチ等、流域対策と従来型の洪水対策を適切に組み合わせ且つ流域と河川の適正な役割分担を考えていきます。

(3) 河川の特性に応じた適切な流域対策についての選択肢をご提案します。

河川の形態、流域特性、被害の発生形態等は河川毎に異なります。緩流河川・急流河川・都市河川・田園地帯を流れる河川・築堤河川・掘り込み河川など河川毎の特性は十分個性にあふれ、そこに生活する人間社会との関わりから自ずと必要な方策は万別であることを理解しています。複合的に関連するこれらの特性を総合的に分析した上で必要な流域対策を選定できるような検討を行います。さらに流域対策が地域に密接に関連するものであることから、地域の意見を取り入れる方法もご提案します。



放水路整備



小河川での遊水地